

## 2 高等学校教育課程研究発表大会

### (1) 目 的

昭和51年度、高等学校教育課程都道府県研究集会の研究成果を発表交換し、高等学校の教育課程の実施に伴う指導上の諸問題を、全国的規模において研究協議し、学習指導の改善に資する。

### (2) 主 催 文部省

### (3) 期 日 昭和51年12月1日(水)～12月3日(金)

### (4) 参加者資格

昭和51年度高等学校教育課程都道府県研究集会の参加者(指導助言者を含む)のうち、各都道府県教育委員会の推薦する者

### (5) 本県からの参加者は次のとおりである。

部 会 名	参加者氏名	勤 務 先
国 語	根 本 正 紀	福 島 高 校
社会(世界史)	五十嵐 リウ子	福 島 北 高 校
社会(地 理)	草 野 清 一	原 町 高 校
数 学	安 原 滋	福 島 高 校(研究発表)
理科(化 学)	近 藤 博	白 河 高 校
理科(生 物)	遠 藤 孝	会 津 高 校
保 健 体 育	増 子 孝	郡山工業高校(研究発表)
芸術(美 術)	田 中 四 郎	磐 城 高 校
芸術(書 道)	阿 部 晴 男	磐城女子高校
外 国 語	岩 越 銀 三	南会津高校
家 庭	高 橋 博 子	白河女子高校(研究発表)
農 業	佐 藤 助 市	岩瀬農業高校
工 業	村 越 保 寿	福 島 工 業 高 校
商 業	家久来 芳 夫	郡山商業高校(研究発表)
水 産	浜 口 保 夫	小名浜水産高校
各教科以外の教育活動	小 林 暢 夫	須賀川女子高校

## 3 高等学校教育課程研究会議

### (1) 目 的

昭和46年度以来、高等学校教育課程研究会議は、教育課程に関する諸問題を種々の面から検討してきたところであるが、これらの研究成果をふまえ、さらに研究を発表させ高等学校教育の適正な運営を図るため、今年度の高等学校教育課程研究会議を設置する。

### (2) 任 務

研究会議は、次の任務を行う。

- ① 高等学校教育課程に関する諸調査並びに資料の収集
- ② 高等学校教育課程実施上の諸問題の研究

### (3) 本年度の研究

- ① 研究テーマ  
生徒の能力・適性に即した学習指導のあり方と実際

### ② 研究テーマ設定の趣旨

現在の高等学校が、青少年のほとんどを教育する国民教育機関としての性格を強めている現状から、教育課程の実施と、学習指導の改善についての研究は、いっそう推進される必要がある。特に、一人一人の生徒の能力・適性に応じた学習指導を進めるため、教育の実際の場における指導のあり方を研究し、今後の指導改善の一助とする。

### (4) 委 員

委員は、県立学校の校長、教頭、教諭、及び県教育センター指導主事の中から、次のとおり委嘱した。

氏 名	職 名	勤 務 校
高 橋 哲 夫	校 長	福 島 女 子 高 等 学 校
早 川 俊 一	教 頭	安 達 高 等 学 校
大 貫 由 雄	教 諭	福 島 高 等 学 校
相 楽 達	〃	〃
蓬 田 道 郎	〃	〃
甲野藤 ノブ	〃	福 島 西 女 子 高 等 学 校
大 槻 忠	〃	川 俣 高 等 学 校
菅 野 五 郎	〃	保 原 高 等 学 校
吉 田 伊 勢 吉	〃	安 達 高 等 学 校
古 川 文 雄	〃	二 本 松 工 業 高 等 学 校
阿 曾 秀 雄	〃	郡 山 商 業 高 等 学 校
橋 本 悌 次 郎	〃	須 賀 川 高 等 学 校
小 林 暢 夫	〃	須 賀 川 女 子 高 等 学 校
佐 竹 重 雄	〃	会 津 高 等 学 校
大 竹 寅 八 郎	〃	会 津 農 林 高 等 学 校
氏 家 仁	指 導 主 事	福 島 県 教 育 セ ン タ ー
古 関 齋	〃	〃
佐 藤 守 男	〃	〃

### (5) 実 施 状 況

第1回 7月14日(水)

趣旨日程の説明、研究事項の協議、分担

第2回 10月4日(月)

研究事項の検討、資料の整理

第3回 2月15日(火)

研究事項の検討、まとめ

## 第4節 学力向上対策

### 〔義務教育課〕

学力向上を重点目標として、教育条件の整備に努めるとともに、研究学校の指定による学習指導の改善・充実に努力した。